

発想の泉

演劇人、音楽家、舞踊家やまさかのお医者さん。
松本でお店を営んでいる主^{あるじ}。

モノを考え、作り続け、提供し続けている人らが、

みんなの前で語り、それを聞いて感じたことを、みんなでまた語り合う。

熱が入ってきたら、ちよつと音楽やダンス、詩の朗読。

ゆるされるなら、お茶やビールなど飲みながら、楽しんで、心に浮かんだことを話し合う。

そういう時こそ、新たな発想がみつかる。

それぞれが自分の言葉で話し、それぞれが、それぞれの言葉を理解し合う。

にぎやかな茶話会のような、

作者も演出家も役者もない偶然の演劇のような、

そんな時間を思い描いています。

串田和美

にぎやか

眺める雲の

茶話会

メディアの庭で

キャスト 串田和美

稲葉俊郎

高橋悠治

山田うん

聞き手 菊地徹

ウチダゴウ『原野の返事』

詩の朗読 串田和美

エリック・サティ

ピアノ 高橋悠治

ソロダンス 山田うん

日時 2020年 11月 11日(水)
18時～21時(2部制・休憩あり)
※開場は開演30分前
場所 信毎メディアガーデン 1階ホール
(長野県松本市中央2-20-2)
参加費 2000円(全席自由・税込 | U25 無料)

お問い合わせ：信濃毎日新聞松本本社まちなか情報局
TEL. 0263-32-1150 (平日9時～17時)

〇〇一三〇歳まで入場可!

フード&ドリンクブースあり

語る木陰

医師、医学博士。1979年熊本生まれ。軽井沢病院総合診療科医長、信州大学社会基盤研究所特任准教授、東京大学先端科学技術研究センター客員研究員、東北芸術工科大学客員教授を兼任（山形ビエンナーレ2020 芸術監督 就任）。未来の医療と社会の創発のため、伝統芸能、芸術、民俗学、農業など、あらゆる分野との接点を探る対話を積極的に行っている。自身も絵や能を嗜む。単著『いのちを呼びさますものーひとのこころからー』（2017年）、『いのちの ちのいのちへ』（2020年、アノニマ・スタジオ）など。

稲葉俊郎

（いなば・としろう）



菊地徹

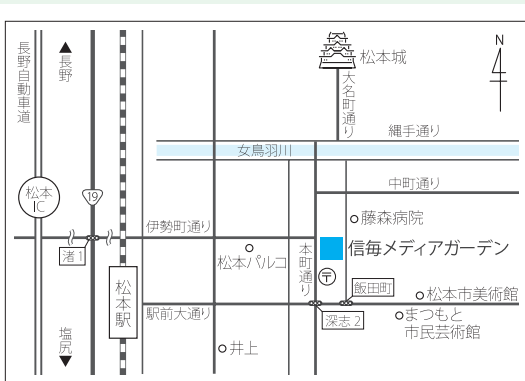
（きくち・とる）



菜日代表。1986年静岡県市出身。筑波大卒。2013年夏、松本市で、国内の独立系出版物を扱う書店兼喫茶「菜日」開業。翌夏からブックフェス「ALPS BOOK CAMP」を主催。2016年夏、現店舗に移転。同年秋、一組限定で中長期滞在向けの宿「菜日 INN」開設。2019年春、ギャラリーストア「菜日分室」開設。2020年秋、銭湯「菊の湯」継業。「まつもと市民芸術館」の広報誌『幕があがる。』編集員。『MGプレス』のリレー連載「水のおと」執筆メンバー。

※新型コロナウイルス感染拡大予防のため左記対策へのご協力をお願いいたします。
 ▼発熱・せきなどかぜのような症状がある場合はご来場をご遠慮ください
 ▼ご入場の際はマスクを着用いただき、せきエチケットをお守りください
 ▼会場入口に消毒液を設置いたします。手指の消毒にご協力ください

企画・構成 串田和美
 コーディネート 串田明緒
 デザイン コバヤシタケシ
 主催 信濃毎日新聞社

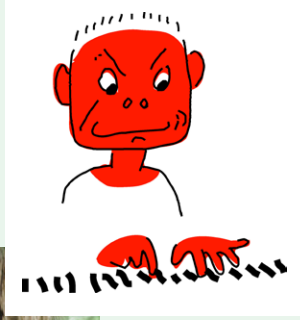


□松本駅から徒歩約8分 □松本ICから車で約15分
 当施設に専用駐車場のご用意はありません。公共交通機関や周辺有料駐車場をご利用ください。近隣商業施設等への無断駐車は他のお客様のご迷惑になりますのでご遠慮ください。皆様のご協力をお願いいたします。

信毎 MEDIA GARDEN

高橋悠治

（たかはし・ゆうじ）



1938年東京生まれ。作曲家、ピアニスト。柴田南雄、小倉朗、ヤニス・クセナキスに作曲を師事。ドイツを経てニューヨークに渡り、パークシャー音楽祭、タングルウッド現代音楽祭や、ニューヨーク・フィルのソリストとして多数出演。コンピューターを使用した作曲も行う。1973年一柳敏、武満徹、林光らと作曲家グループ「トランソニック」を組織し、同名の季刊誌も編集。主なCDに「パッパ：ゴルトベルク変奏曲」「エリック・サティ：新ピアノ作品集」。著書に「音の静寂・静寂の音」「きっかけの音楽」「カフカノート」。

山田うん

（やまだ・うん）



振付家・ダンサー。器械体操、バレエ、舞踏を学び2000年渡仏。2002年ダンスカンパニー「Co. 山田うん」を設立し、国内外で公演を重ねる他、演劇の振付や演出、各国の劇場や学校でのワークショップ、伝統芸能、ファッション、食など異業種とのコラボレーションも行う。常に思想、学術とアジアの伝統芸能や地域性などの土着性を行き来することで、時代性、社会性、タイミングに敏感に呼応する身体性を追求。第65回芸術選奨文部科学大臣新人賞。平成26年度文化庁文化交流使として11か国23都市を訪問。令和元年第37回江口隆哉賞受賞。

串田和美

（くしだ・かずよし）



俳優、演出家、舞台美術家。1966年劇団「自由劇場」を結成、代表作に『上海パンスキング』『もっと泣いてよフラッパー』など。1985年Bunkamuraシアターコクーン初代芸術監督に就任、コクーン歌舞伎やレパートリー作品を多数生む。2003年まつもと市民芸術館芸術監督に就任。『空中キャバレー』『信州まつもと大歌舞伎』、松本が拠点の劇団「TCアルプ」など、街場や国内外に広がる独自の事業を展開し続けている。信毎メディアガーデンの企画プロデューサーとしても多種多様な「串田企画」を開催。著書に「幕があがる」「串田劇場（くしだぎょう）」。

〈プレイガイド〉

- ・信毎メディアガーデン 1階まちなか情報局（9時～18時）
- ・セブンチケット <http://7ticket.jp>

※0歳から入場可、U25無料（但し事前予約が必要）

【予約方法】

信毎メディアガーデンホームページ

「CONTACT（お問い合わせ）」ページから申し込み。

「お問い合わせ内容」の欄に、

- ①「串田企画第10弾 にぎやか茶話会」参加希望、
- ②年齢・学年をご記入ください。